



災い転じて福となす 気を引きしめて、2019年につなごう。

その年の世相を表す「今年の漢字」に「災」が選ばれ、先日、京都の清水寺で発表されました。

災

(サイ/わざわい)

意味 ①わざわい。②よくないできごと。③災難。



文字通り、北海道・大阪・島根での地震、西日本豪雨、大型台風到来、記録的猛暑など、日本各地で起きた大規模な自然災害により、多くの方が被災しました。漢字1字では表せない、激動の1年だったように思います。奪われてしまった命がそこにあることを、決して忘れるわけにはいきません。

「災」を選んだ応募者の理由には、次のような声もありました。

- ◆ 同じ規模の災害が他の国で起きたら、もっとたくさんの被害が出ていると思う。日本は暴動なども起きない。水、食料の配布になってもみんなちゃんと並んで受け取る。日本人のすごいところだと思う。
- ◆ 水害や地震など、たくさんの災害がおきて、たくさんの義援金箱に寄付しました。いつどこで災害がおきるかわからないし、次は自分が被害にあうかもしれないという危機感をすごく感じて、少しでも助けになればと思いました。

未曾有(みぞう)の災害の中でも、温かい心を失わず、助け合う姿が印象に残りました。

本校でも、先日、「赤い羽根共同募金」が集められました。生徒会の呼びかけにこたえて、全校生と先生方が募金を持ち寄った結果、合計44,335円が集まりました。この募金は、社会福祉協議会を通じて、誰もが安心して暮らすことができるよう役立てられることでしょうか。

さて、みなさんにとっての2018年は、どんな一年でしたか。良いことばかりではなかったかも知れません。多かれ少なかれ、様々な「災」に見舞われた人も少なくないことと思います。でも大丈夫。「災」は「笑顔」に変えられるということを、次の応募者の方が教えてください。

- ◆ この漢字は、漢字のパーツをバラバラにして位置を変えると笑った人の顔に作り替えることができます。来年は、たくさんの人が笑顔になれる年になるといいなという願いも込めて。

今年も残りわずかになりました。最後まで気を抜かず、反省すべきところは素直に改めて、新年のいいスタートにつなぎたいものです。きたるべき2019年が、「災い転じて福」となりますように。

平成31年1月~3月の主な行事予定

1月	7日(月) 第5回学習の診断(3年)	3月	12日(火) 公立高校入試
	8日(火) 3学期始業式		13日(水) 公立高校入試(面接・適性検査)
	9日(水) 冬休み課題テスト(1・2年)		15日(金) 卒業式
	19日(土) 入学説明会(新1年)		22日(木) 修了式
2月	6日(水) 公立高校自己推薦入試		
	12日(火) 学習の診断(1・2年)		
	22日(金) ~ 26日(火) 学年末テスト(1・2年)		